

よつば小学校新築工事 計画概要



外観イメージ

基本方針

守口市における新しい学校づくりに共通する基本コンセプト

夢と志を育む学校づくり
安全に配慮した学校づくり
地域とつながる学校づくり
環境への配慮
地域の防災拠点

よつば小学校建設におけるコンセプト

集中と触発を促す学習空間づくり
心も身体も楽しむことができる学校づくり
地域の拠点となる学校づくり
統合小学校として地域と子どもに配慮した学校づくり

よつば小学校の設計基本方針

児童一人ひとりの
主体的な学びの活動が広がる学校

出会いや発見が学びにつながり
充実して過ごせる学校

学校の中もまちのなか
みんなが学び活動できる学校

統合校区の伝統・特色をみんなで育て
未来につなげる学校

設計・建設スケジュール

○スケジュール

| H27年度 | | | | H28年度 | | | | H29年度 | | | | H30年度 | | | | | | |
|-------|---|----|----|-------|---|---|---|-------|----|---|---|-------|---|----|----|---|---|---|
| 6 | 8 | 10 | 12 | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 2 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 2 | 4 | 6 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基本設計 | | | | | | | | | | | | ○開校 | | | | | | |
| | | | | 実施設計 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 解体設計 | | | | 新築工事 | | | | | | | | | | |
| | | | | 解体工事 | | | | | | | | | | | | | | |

○新校舎案の検討

新校舎案を元に教職員の方々、地域の代表の皆さんとディスカッションを重ねました。よりよい学びの場づくりのために、たくさんの意見を頂きました。

- 7/ 6 第1回 教職員・統合校連絡会
ワークショップ
- 8/ 4 第2回 統合校連絡会ワークショップ
- 8/ 6 第2回 教職員先行事例の視察
- 8/ 6 第2回 教職員ワークショップ
- 8/ 31 第3回 教職員ワークショップ
- 9/ 11 第3回 統合校連絡会ワークショップ
- 9/ 14 第4回 教職員ワークショップ
- 10/14 第4回 統合校連絡会ワークショップ



ワークショップ風景



先行事例視察風景

施設概要

建設地 :大阪府守口市大久保町二丁目 17 番 36 号

道路幅員 :北側道路 4m 南側道路 7m 西側道路 6.5m

敷地面積 :14,748 m² 建築面積:5,092 m² 延床面積:10,894 m²

| | 1階 | 2階 | 3階 | 4階 | 計 | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|-----|--------|----------------------|
| 教室棟 | 4,462 | 3,811 | 2,153 | 240 | 10,666 | |
| 駐輪場 1 | 40 | - | - | - | 40 | |
| 駐輪場 2 | 20 | - | - | - | 20 | |
| 守衛室 | 10 | - | - | - | 10 | |
| 体育倉庫 | 50 | - | - | - | 50 | |
| 地域倉庫 1 | 30 | - | - | - | 30 | |
| 地域倉庫 2 | 30 | - | - | - | 30 | |
| 危険物倉庫 | 3 | - | - | - | 3 | |
| 菜園倉庫 | 2 | - | - | - | 3 | |
| 屋外便所 | 34 | - | - | - | 34 | |
| ゴミ置場 | 7 | - | - | - | 8 | 10894 m ² |

設計コンセプト

まちなかにあり、まちとともに学び、主体的に活動と地域との協働により、人間性を育む学校

緩やかにつながる「クラスター型」レイアウト

- ・学年ごとにまとまりのある教室配置(クラスター型)とします。
- ・教室で一日中過ごすことの多い低学年、興味を広げる中学年、応用を鍛える高学年まで、それぞれの成長段階に対応した特色のあるクラスターをつくります。

学びのかたちを広げるオープンスペース

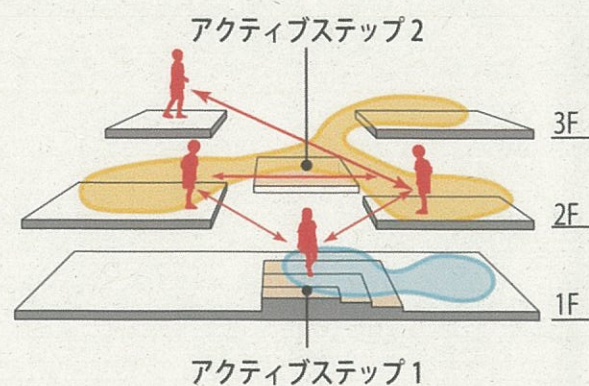
- ・普通教室とオープンスペースの間仕切を可動式とし、一体利用も可能なつくりとします。
- ・個別学習ができる場、グループで遊べる場、楽器展示保管庫等が置かれた場等さまざまな場所をつくり、児童の学習意欲を誘います。

学校全体が学びの場

- ・自ら調べ答えを探す、学びのための拠点として「メディアセンター」をつくります。
- ・「先生コーナー(気軽に相談などをできるスペース)」、「デン(児童のための隠れ家的穴ぐら)」等の小さな空間を設け、学校のあちこちに豊かな学びの場をつくります。
- ・外の教室や創作テラスなど積極的に屋外で活動できる場を設けます。
- ・各学年クラスターに面して特別教室を配置します。
- ・理科の実験器具、図工作品、楽器等がいつでも目に触れて、学習意欲を刺激する場所をつくります。

学びの空間を立体的につなげる「アクティブステップ」

- ・上下の階をつなぐスキップフロア形式の空間をつくります。
- ・各階に視線・動線が通り、奥の活動の様子も感じ取ることができ、学習意欲を誘う空間をつくります。
- ・アクティブステップにより全ての階がつながり、学校全体が一つのクラスのような、学年の垣根を越えたつながりをもつことができる空間をつくります。

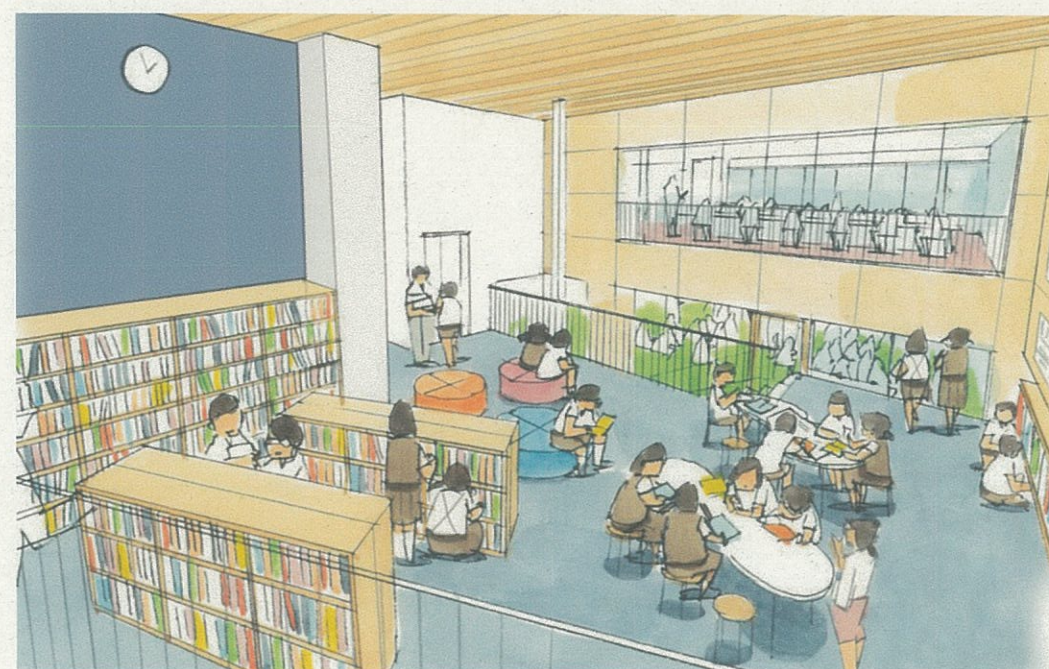


地域と学校をつなぐ空間づくり

- ・地域と学校をつなぐ拠点として利用できる「まちなかサロン」をつくります。
- ・現東小学校の郷土資料館を受け継ぎ、新しいよつば校区の営みを学べる場所をつくります。
- ・有事に備え、備蓄倉庫や非常発電設備、マンホールトイレを設置します。
- ・校舎とグラウンド下に洪水対策の雨水槽を設けます。



アクティブステップ1
イメージ図



アクティブステップ2
イメージ図

平面構成の全体的な考え方

全体的な考え方

- ・メディアセンターは、学びの中心としてどこからでも行き来しやすい配置とします。
- ・学年フロアは、日当たりの良い南面配置とします。
- ・教職員フロアは、正門・グラウンド・各教室を見渡せる配置とします。
- ・地域フロアは、地域開放門から直接行き来しやすい中庭に面した配置とします。
- ・体育館は、地域開放などを考慮し、切分け運用できる配置にします。
- ・体育館、備蓄倉庫は避難場所としての利用を考慮し、2階に配置します。



フロアイメージ図

配置計画

○高さを抑えた校舎

- ・周囲に与える影響を抑えらるとともに、上下移動が少なく、使いやすい3階建校舎とします。
- ・校舎の外形を細分化し、豊かな表情をつくることで、まちとの調和を図ります。

○周辺環境の変化を最小限に抑える校舎

- ・大久保小学校と同様の校舎配置とします。
- ・北東側に校舎、南側にグラウンドを配置します。

○安心・安全な通学路

- ・現東小学区からの児童の通学路を考慮し、南側に正門を設けます。
- ・正門前に緑豊かなアプローチ空間をつくります。
- ・登校を迎える位置に職員室を配置します。
- ・現大久保小学校正門の位置に、地域と学校を結ぶ中庭空間をつくります。

○豊かな屋外空間

- ・グラウンドは人工芝、その周囲の校庭を天然芝とし、緑いっぱい環境にも優しい学校をつくります。
- ・花壇、菜園、果樹林など学びにも役立つ緑地づくりを行います。



配置図

平面計画

1階

■ 緩やかにつながる「クラスター型」レイアウト

○低学年フロアでは、集団学習を身につけるための空間づくりを行います。

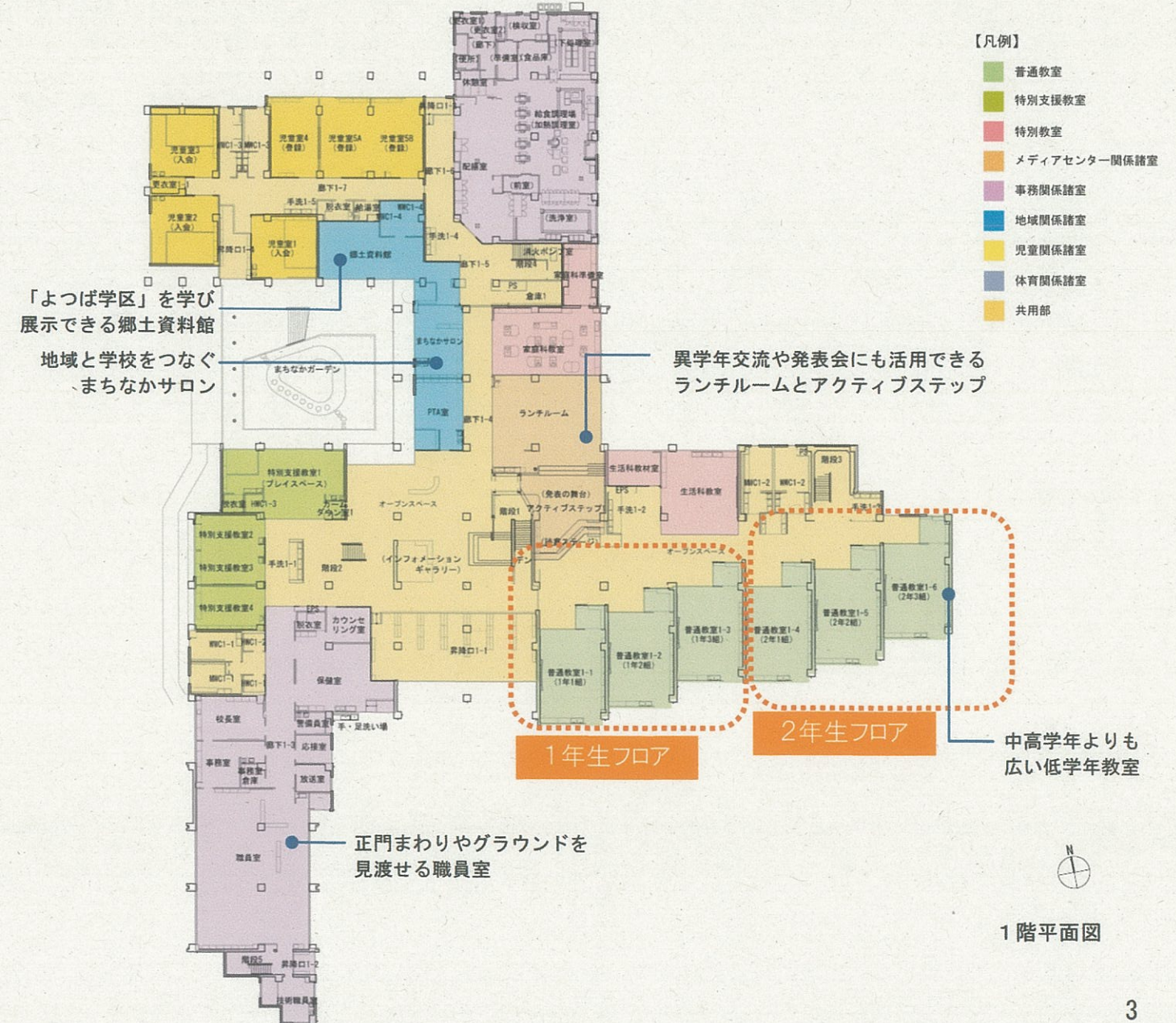
- ・多様な活動を教室で行うことが多い低学年では、普通教室を従来よりもゆったり広くつくります。
- ・各教室にデン、水回りをつくります。

■ 学校全体が学びの場

- ・異学年交流や放課後学習などにも利用できるランチルーム、アクティブステップ1をつくります。
- ・2クラス一緒に食事ができる大空間のランチルームをつくります。

■ 地域と学校をつなぐ空間づくり

- ・地域と学校をつなぎ、地域が学校を支援する拠点として活用できる、まちなかサロンをつくります。
- ・校区の歴史や伝統を学んだ成果の展示や、これからの地域の姿を刻んでいける、郷土資料館をつくります。
- ・学習サポーター活動や、学校園での作物づくり指導など、教育参加の可能性を広げる学校をつくります。



【凡例】

- 普通教室
- 特別支援教室
- 特別教室
- メディアセンター関係諸室
- 事務関係諸室
- 地域関係諸室
- 児童関係諸室
- 体育関係諸室
- 共用部

1階平面図

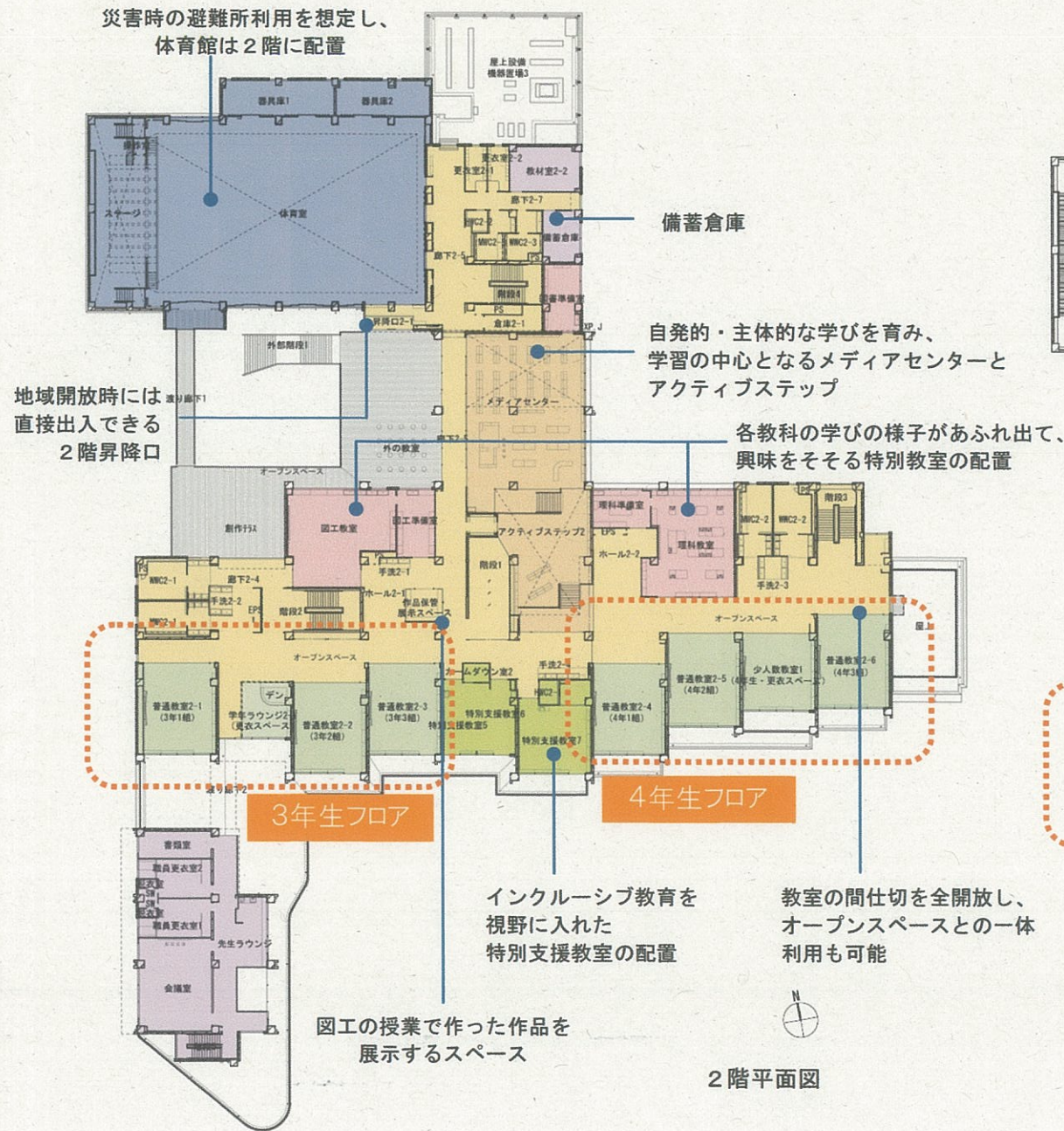
2階

■ 緩やかにつながる「クラスター型」レイアウト

- 中学年フロアでは学習の幅を広げ、積極的に学習に興味を持つことができる空間づくりを行います。
- ・ 特別教室やメディアセンターが目の前にあり、他の学級の活動も刺激になるつくりとします。
- ・ 教室外にも積極的に出て授業を行うことができる、オープンなつくりとします。

■ 学校全体が学びの場

- ・ メディアセンターの主体となる図書スペースを中間フロアである2階中央に設けます。
- ・ メディアセンターと一体的なアクティブステップが学びの場と場を繋ぎ、より活動的で児童同士が刺激し合える空間をつくります。
- ・ 読み聞かせのできるコーナーや、床に座って読めたり、学びの成果を発表できるスペースをつくります。
- ・ 授業で作ったものや実験器具を廊下の一部に展示するなど、学習意欲を刺激する場を設けます。
- ・ 教室での学習だけでなく、グループ学習や課外学習など、さまざまな学習ができる空間をつくります。



3階

■ 緩やかにつながる「クラスター型」レイアウト

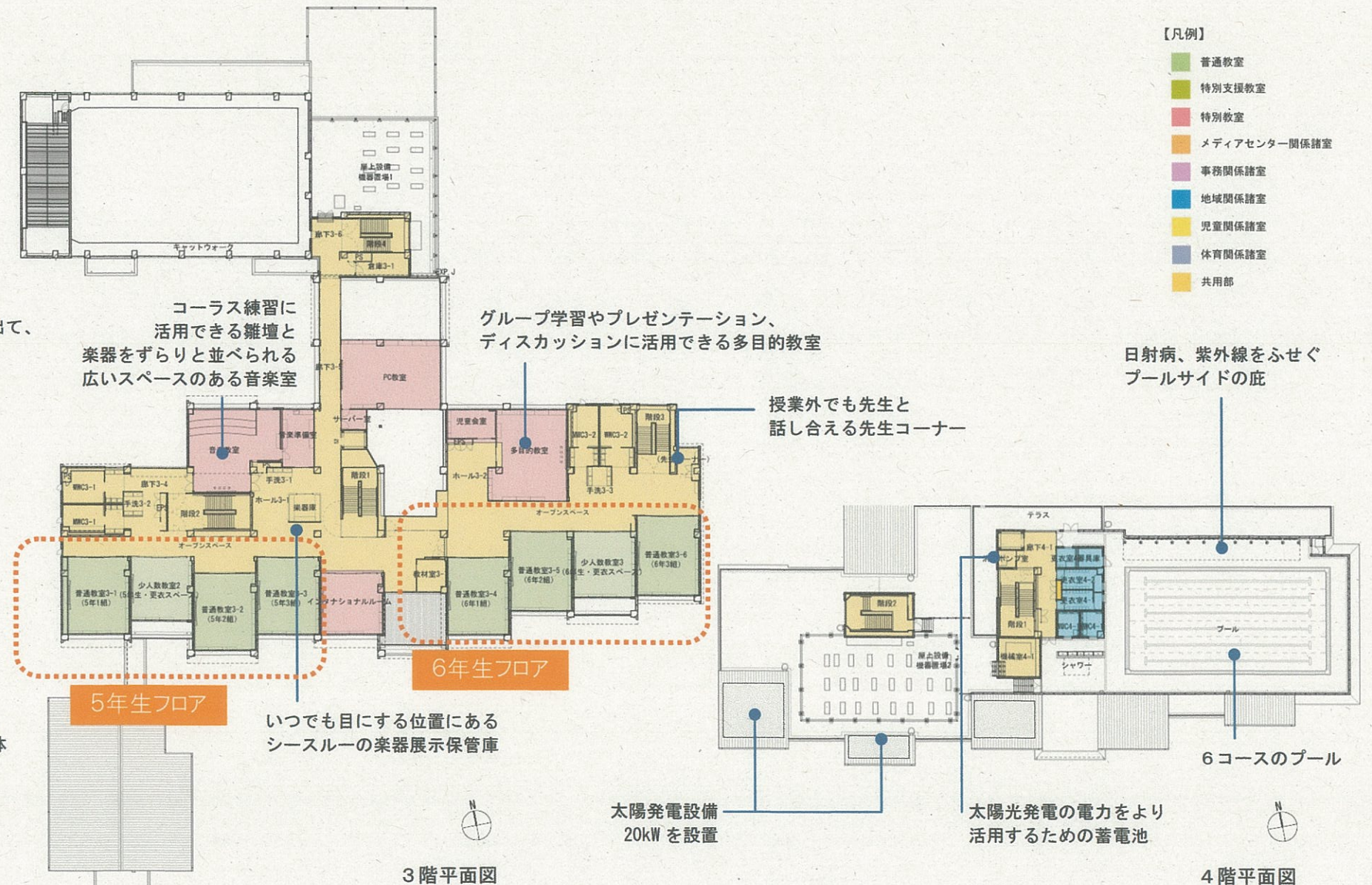
- 高学年は生活範囲が学校全体を網羅し、自ら積極的に考え、行動する学び方を身につけるための空間づくりを行います。
- ・ グループワーク・プレゼンテーションに活用できる少人数教室や多目的教室をつくります。
- ・ インターナショナルルームなどの多様な視点や価値観を学べる場をつくります。

■ 学校全体が学びの場

- ・ 授業で作ったものや実験器具等を廊下の一部に展示する場を設けます。
- ・ 吹抜けを介し、異学年の児童がつながりをもつことができる空間とします。
- ・ 学年を越えて音楽に興味がある児童が集い、話せる場として楽器展示保管庫を廊下の一部につくります。

■ 学びの空間を立体的につなげる「アクティブステップ」

- ・ 学校全体を一つの学びの場とするため、上下階からアクセスしやすいよう計画します。
- ・ 他の児童の活動が垣間見え、刺激・関心を生み出すように視線の抜けをつくります。



立面計画



南側立面図



北側立面図



西側立面図



東側立面図

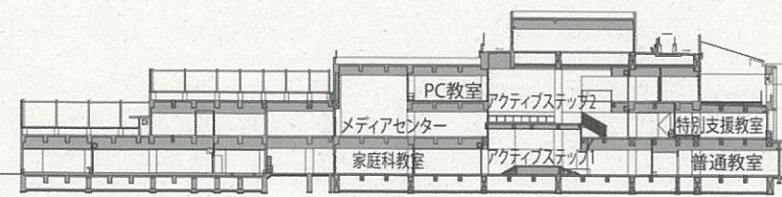


中庭北側立面図

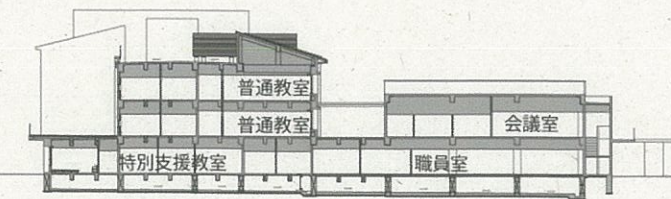
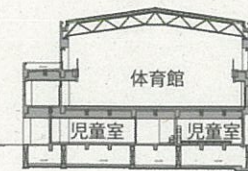


中庭南側立面図

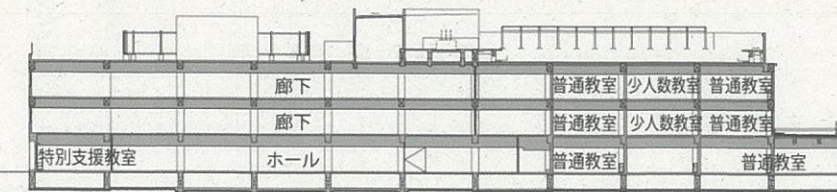
断面計画



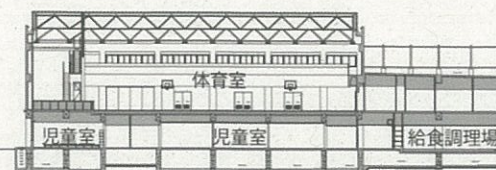
A-A' 断面図



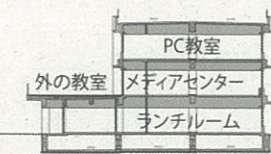
B-B' 断面図



C-C' 断面図



D-D' 断面図



E-E' 断面図